

広報 ほうじょう

町の人口
(11月1日現在)

| | |
|-----|--------|
| 人口 | 7,898人 |
| 男 | 3,801人 |
| 女 | 4,097人 |
| 世帯数 | 2,307戸 |

鯉とり大会

弁城小学校

子どもたち待望の鯉とり大会を、こしも快晴に恵まれた。十月二十九日(土)に実施した。

全校児童一四九名が、どろんこになって、喜々として鯉をつかみどりする様は、壮観の中にも、ほほえましく楽しいものである。



もたちに求められていることは、もっと太陽の光を全身に浴びて、汗とどろにまみれ、力いっぱいびまわる子ども本来の姿ではなからうか。

青空の下、どろんこになって、池の中を、とびまわり、はいまわり、鯉とり熱中する姿こそ、とかく忘れがちな、自然の中に、どろんどろんとつかった、土のにおいする手造りの教育の一面ではなからうか。

現在の子どもたちに、こうした自然にだけこむ体験をさせることにより、もったくまじい生活態度を育てることが望まれるのではなからうか。

鯉とり大会の感想を、子どもたちは、次のように作文にしているので、ご一読いただきたいものである。

こいとりの大会

弁城小学校三年

香月 礼

十月二十九日土曜に、野地のつつみでこいとりの大会をした。

ぼろふく、ぼろぐつ、入れもの、なんかをじゅんびして、コイのことを考えながら、学校に来た。

くつは、ゴムで、びつちりとめているし、入っても大じょうぶだ。でも、入る時、どきどきした。

入つてもいいふえが鳴ると、うれしくてとび出した。でもドブドブで、ゴムはなくなるいっぽうだ。

入るとすぐ、赤いコイが泳いで来たので、うれしくて思いきって、しっぽをつかむと、ピチピチと元氣にはねた。全ぶで黒いフナ六匹キ、色こい五ひきもつか

しかつた。今日は、すぐどろんこになったけど、本当に楽しかった。

帰りは、おねえちゃんがコイをもつて帰つて来て、たすかつた。

鯉とり大会

弁城小学校六年

永末 祝子

十月二十九日土曜日、待ちに待った、鯉とり大会。空は青々として快晴にめぐまれ、ほんとにいい日曜日だった。

学校を出発し、内屋敷がつみへと進んだ。行きがけみんな、うれしくて早足で歩く子さえた。

つつみに着き、上から見おろした。

つつみは、水もほとんどひいていて、水は少ししかはいていなかった。

また、鯉やふなが飛びはねる姿が時々見られた。

私達、六年生は一年生と比べると、はいることになった。

ピストルがなり、みんないっせいに走っていった。

水は引いていたが、困ったことに足を一歩ふみ入れるとズズッとはいりこんでしまいました。

十二月のこよみ

- 1日、歳末たすけあい運動(31日まで) ★年末年始の防犯運動(1月31日まで)
- 4日、人権デー(10日まで)
- 7日、大雪
- 10日、世界人権デー
- 15日、年末年始海上犯罪一斉取締り(1月14日まで)
- 年末年始食品等一斉取締り(1月14日まで)
- 22日冬至

また、カエルやザリガニが至る所にいて、ふまないように歩かなければいけないので行くだけでも大へんだった。

水の中に入ると、色鯉やふなが、くるったように泳ぎだした。

それに、すぐそばを泳いでいるので簡単に取れるのでとても楽しい。

でも、それかと思うと、鯉が元氣がありすぎてつかまえたかと思うと、バタバタと手からにげてしまう。

どろんこになりながらもいつまでも、心に残るいい思い出になった。

青少年を健やかに育てよう